



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO SETAGAYA

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

C/O TOKYO YMCA MINAMI CENTER 3-23-2 MIYASAKA, SETAGAYA-KU, TOKYO, 156-0051 JAPAN

国際会長主題
アジア太平洋地域会長主題
東日本区理事主題
東新部部長主題
クラブ会長主題

「価値観、エクステンション、リーダーシップ」
「変化をもたらそう」
「変化をたのしもう！」
「友情の絆を強めYMCAを支えよう」
「クラブライフを楽しもう」
Enjoy your club-life!

Jacob Kristensen (Denmark)
David Lua (Singapore)
板村 哲也 (東京武蔵野多摩)
加藤 義孝 (東京クラブ)
朝倉 正昭 (東京世田谷)

会長 朝倉 正昭
副会長 松井 直樹
書記 松井 直樹

2020年8月会報

強調テーマ

* C S *

YMCAサービス・パートナーシップ

会計 小原 武夫
直前会長 寺門 文雄
担当主事 池田麻梨子

↑今月の聖句

「ひとはみな草のごとく、その栄華はみな草の花に似ている。草は枯れ花は散る。しかし、主の言葉は、とこしえに残る。」これが、あなたがたに宣べ伝えられた御言葉である。

For "All flesh is like grass and all its glory like the flower of grass. The grass withers, and the flower falls. but the word of the Lord remains forever." And this word is the good news that was preached to you.
(1954年改訳聖書) (ペテロ第一の手紙 1:24~25)
(寺門 選)

司会

松井 直樹 君

1. 開会点鐘 朝倉 正昭会長
2. ワイズソングと信条 一同
3. ゲストとビジター紹介 朝倉 正昭会長
4. 今月の聖句朗読 寺門 文雄 君
5. 会食 ありません
6. クラブ活動に関してブレイン・ストーミング (Brainstorming)
7. ハッピーバースデイ 8月7日 松井 直樹君
結婚記念日 なし
8. ニコニコ献金
9. 諸報告
10. 閉会点鐘 朝倉 正昭会長

リモートによる例会です

※ 8月例会プログラム

とき 令和2年8月21日(金) 18:00~19:00

ところ 東京YMCA南コミュニティセンター3F

電話 03-3420-5361 8月例会は

7月のデータ	会員在籍	12名	例会出席者	7/17日(金)	7月のBF	ニコニコファンド	
	出席率	100%	会員	10名	切手	0g	7月 11,000円
第2例会 (中止)			メネット	0名	現金	円	年度計 11,000円
			メイキャップ	2名	累計切手	0g	
			ゲスト	4名			注: JOCS 献金記録の掲載
			ビジター(含むzoom)	5名			すずらん会やコミュニティコンサートではかねてよりJOCSへの応援を行っている。
			合計	21名			使用済み切手とワンコインの献金など。
			すずらん会参加者	日(木)	東京世田谷ワイズメンズクラブは		
			ゲスト	0名	2019年10月31日 社団法人日本		
			スタッフ	0名	キリスト教海外医療協力会(JOCS)		
			合計	名	に年会費10,000円を納入し継続しました。		
			新型コロナウイルスの影響で				

※ 本日のメインプログラム

昨今は我々の主要地域活動である、歌声広場の活動がコロナウイルスの感染拡大のため、開催出来ない状況が続いていますので、今後の対応と方向性を皆様とブレイン・ストーミングで定めたいと思います。皆様のご忌憚のないご意見をお聞かせください。

なお、ZOOM 対応例会といたします

※ 7月例会報告



加藤義孝東新部部長のクラブ訪問と、新年度早々の入会者を迎えての7月例会は開催された。入会식을朝倉会長 ZOOM 参加の為、寺門直前会長の司式により加藤部長、伊藤幾夫会員増強事業主任の立会いの下、三浦功雄君の入会が宣言された。

引き続き、加藤部長からご挨拶を、特に活動計画として、クラブ間の交流を深め、ウェブなどリモート活用し、会員増強を心掛け、YMCA と共にクラブ活動を続けられる

ようにと年度計画をお話し頂いた。

三浦功雄君の入会挨拶の後、伊藤会員増強事業主任からも励ましの辞をいただく。

YMCA 保育園ねがいの高橋里香館長からは、クラブでの植栽事業に、子供さんたちも喜んでいる様子をお話いただき、Zoom 参加の秋田正人さん、太田勝人さん、渡邊美帆さんと共に、有意義な新年度初例会を持つことができた。
(小原 記)



三浦 功雄君 自己紹介

世田谷クラブに入会した三浦功雄です。

この3年間は、定年退職・妻との死別・高齢者施設への入所と色々の変化のあった3年間でした。

仕事は経営側であり忙しい日々の42年間でしたが、充分やり切った感もあり円満退社しました。妻との死別は残された者として生かされている意味を考える大きな出来事でした。

引越先のフランシスコ・ヴィラは45年前に聖フランシスコ病院女子修道女会が建てた高齢者施設です。施設の目的として長年の仕事を終えて、残された人生を豊かに過ごす事を望んでいる人を迎える所であり、第二の人生を始めるのに好ましい場所と思いました。

2019年12月「2度目の独りお正月」を迎えようとしている時、東山荘の家族キャンプを知り大学時代ボランティアリーダーをしていた思い出もあり参加しました。それがきっかけでYMCAに戻った気持ちで、この7月に世田谷ワイズメンズクラブに入会しました。

※ 転入会：秋田正人さんご紹介

東京 YMCA 職員として、liby 誕生に貢献され、大阪、熊本等への支援活動を担当。現在東京 YMCA 保育事業統括としてご活躍。直近では大阪・土佐堀ワイズメンズクラブに所属されて、8月より、東京世田谷クラブへ展入会されます。

※ YMCA 保育園 ねがい 1 年の奉仕活動

8月の声を聴き、丸1月に及んだ梅雨から真夏の青空と共に熱暑が訪れた。

希望ヶ丘団地を取り囲む櫛林では、時至れりとばかり、蝉しぐれの合唱が続いている。2mもあるジャンボ向日葵も、太陽を追いかけて花を開き、その幹には脱皮したばかりのセミの抜け殻が張り付いていた。正に、大都会のジャングルにあるオアシスを思わせる風景である。

昨年7月に開園した【ねがい】も早一周年を迎えた。

私達世田谷ワイズメンズ活動の奉仕として、少数・高齢者ボランティアは何ができるかの選択の中から、保育の素



人集団でも参加可能と思われる園外活動ガーデニング支援はどうかと判断した。一年前、園舎こそリニューアルされ綺麗に整えられたが、無機質な入れ物という感じがした保育園。



『ピオトープ』（復元した自然の小さな池）に小原さんの育てたメダカを放ち、一年後の今も子供を

増やして元気に泳ぐ姿に園児たちは毎日挨拶をして喜んでいるとのこと。

最初に様々な用具を揃え、土を耕しながら球根を植え種を蒔き、この春には美しく花が咲き揃った。

この一年前半は、数多くの台風にも悩まされ、新年度は新型コロナウイルスにより今でも感染拡大に不安な日々が続いています。

私達はこの奉仕により、園児達の穢れの無い綺麗な眼



差しに触れ、すくすく成長する姿を見ることが出来たことは何よりの祝福を頂いたと感謝しています。8月1日の植栽活動

小原、川嶋、寺門

(寺門 記)

※ YMCA すずらん会はどうなるか？

あらゆるところで、歌う事が出来ません。教会、コン

サート会場、集会場などです。

それでも、歌うという行為は人間の本質的なものですから、諦めるなんてありえないのです。ということで、社協が主催するオンライン体験会「LINE ビデオ通話を使ってみよう」に参加、シニア SOHO 世田谷のスタッフが先生の楽しい体験でした。スマホを持っているメンバー、最大200人！とつながることができるそうです。

教会のオンライン礼拝での経験は、例えば外国などの遠隔地とも繋がって新しい礼拝のあり方を発見しました。ワイズメンバーを超えて参加者とも一緒になって作る新しいYMCA すずらん会を目指しましょう。

(小川 記)

※ 東新部 第1回評議会に参加

7月18日(土) 13:00~16:00 YMCA 東陽町センターに於いて、東新部第1回報議会議が開催された。

出席者・定足数 25/30 が確認され議事に。

審議事項：小川部長年度(2019~20) 第3回評議会議事録承認。寺門会計の年度会計報告など主要協議の後、各・部事業主査、クラブの事業方針、活動計画が報告された。年度第1回区役員会に於いて、今年度はユースボランティア・リーダーズフォーラムがコロナ禍により中止の為、予算修正の報告がなされた。第24回部大会が10月10日(土) 東京 YMCA 東陽町センターに於いて開催予定と深尾香子委員長より報告を頂く。クラブより松井書記、小原会計が出席。

(小原 記)

※ 神学生日記 その2

神学生の生活は、大変に忙しい毎日です。

昼間の勤務が終わってから、90分授業が2コマです。毎授業に試験のある授業もあれば、レポートを提出する授業もあります。特にギリシャ語は、毎回あてられるので必ず予習が必要です。

授業の前には月曜日と金曜日に礼拝があります。その礼拝の中では、司会や奏楽など学生のそれぞれの役割があります。試験も前期と後期にあります。

その上、自治会活動の各委員会もありますし、音楽会などの大きなイベントもあります。J 資料という雑誌も年2回発行しています(私はその担当です)。

ですから、よほどお互いに要領よくやらないと、生活全体が回っていきません(幸い私は自営業なので助かっています)。

学生の中には出張の多いサラリーマンもいますので、用件はほとんど立ち話程度で用が足りるようにします。授業が全て終わった頃は、夜10時を回り、帰宅する頃は深夜がほとんどです。

そこで、この神学校では寮があります。中にはご夫婦で献身される方もおりますし、子供のいらっしゃるご家庭もあるので家族寮もあります。

ところで、神学生は、年齢も職業も様々です。商社において海外でキリスト教に触れた方や元県庁の職員、大学で教えている方、現役の学校の先生、幼稚園の副園長、NGOの事務職員、感染症専門の看護師さん、ケアマネジャー、介護職員などです。

中高年の方々の中には、長年連れ添った伴侶の召天をきっかけにという方もおられます。

なお、埼玉YMCAの元総主事だった栗原道子さんは、定年退職後、同神学校に進まれ、今年ご卒業され、調布教会へ赴任されました。

(松井 記)

※ 会長通信 2008

今年は梅雨が長く、それだけでも気詰まりなのに、コロナ感染の拡大で気が休まる日々が続いています。今ワイズの各クラブのメンバーの方々、世田谷クラブの中心的活動である歌声広場の活動を、何とかテクノロジーを使って実現できないかと勉強をしています。

中々リアルな会合が難しい中で、ネットを使って実現するという試みです。心強いのは東京YMCAのリーダーが実施している事です。私を含めてですが我々の年代はITに拒否感が強く、人によってはスマホも敬遠している方がいるのが現実です。然しながら世界中の識者の方が、コロナ前とコロナ後では、今迄のやり方は通用しなくなるだろうといわれています。私の認識では我々は百年に一度にあるかないかの社会的、経済的变化に直面していると感じます。ダーウィンは彼の適者生存の理論で述べていますが、変化に対して生き残るのは強いものが残るのではなく、変化に対応できるものが生きるのだといっています。私はワイズメンズクラブも例外ではないと思います。ですから、私達を奮い立たせて、五十の手習いでITを勉強しなければなりません。

今の若い方はコンピューターを全く苦にしませんから、若い方から学びながら、交流するという機会を与えてくれるとも考えられます。コロナ禍をピンチと捉えるのではなく、チャンスととらえてワイズメンズクラブの拡大を目ざそうではありませんか！今までのやり方をぶち壊し、若い方々と連携してワイズメンズクラブの新しいモデルを作ろうではありませんか！リアルな会合は難しいですが、リモートの会議は時間や場所の制約を考えなくてよいのです。ご相談したお一人の方が、年末恒例の第九の大合唱も不可能ではないと申されていました。

まだまだ分からないことだらけですが、これから色々学んでいこうではありませんか！

(朝倉 記)

※ YMCA NEWS

1. 「コロナの影響を受ける青少年支援緊急募金—YMCA子ども・ユース支援 ポジティブネット募金」を開始した。全国YMCAが共に取り組み、2021年3月末を期限に全国で3億円の目標額を掲げている。東京YMCAでは子どもたちの心身の健康を守る活動、困難を抱える子どもたちを支える活動、学生やユースボランティアの学習等を支える活動に用いていく予定。ご協力をお願いいたします。

2. コロナ禍における継続した学びを支援するため、国際ホテル専門学校と社会体育・保育専門学校の全学生、及びインターナショナルスクール (TYIS) の全生徒を対象に、1人につき一律3万円の奨学金を支給した。医療福祉専門学校 (学校法人) は、全学生にタブレットPCを支給した。

3. 7月10日から夏期プログラムの受付が開始された。今夏は新型コロナウイルス感染防止のため、定員を半数以下とし、日帰りデイキャンプ、ファミリーキャンプ、オンラインによるキャンプなど、3密を避け、例年とは違う方式で行うよう内容を工夫した。南センターでは、デイキャンプ、英語プログラム、帰国生クラス、バーチャルキャンプを実施。リーダーたちと準備を進めている。

4. 1920年に初めてYMCAの組織キャンプが実施されて今年で100年になることを記念し、全国YMCAで様々な記念事業が開催されている。その一環として東京YMCAは、コロナ禍でキャンプに参加できない子ども718人に、記念Tシャツと「キャンプ100の歩み」のリーフレットを贈ることとした。またこれに賛同する多くのリーダーOB・OG等関係者より寄付や協力があった。

5. 6月29日から開催予定であった「第23回会員芸術祭」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、東京YMCAのホームページ上で実施する。絵画、写真、書画、陶芸他、写真撮影した出展者42名の作品63点を、7月下旬から「フォトギャラリー」として掲載する。

6. 他団体の動き

東京山手ワイズメンズクラブ (1953年チャーター) が6月末をもって解散した。

南センターで育てている枝豆が小さな実をつけました。食べごろはいつでしょうか？

枝豆が ちいさな実を付けて

(池田 記)

